

新たな都市像とともに 「秦野市総合計画 はだの2030プラン」がスタート

令和3年度からスタートする「秦野市総合計画 はだの2030プラン」は、今を生きる多くの市民の思いや願いが詰まった「ふるさと秦野」の新時代を創造する道しるべです。

市政運営に地域力が求められる中、43年ぶりに改定した新たな都市像「水とみどりに育まれ 誰もが輝く暮らしよい都市(まち)」には、市民共有の財産である「水とみどり」と共生し、その恵みを楽しみながら、世界共通の目標であるSDGsの「誰一人取り残さない」という理念も踏まえ、市民一人ひとりが夢や希望を持って、生き生きと暮らし、活躍できるよう願いを込めています。

今後、この都市像の実現に向かって、より一層の本市の発展を目指し、市民との協働・連携のもとに、持続可能なまちづくりを推進していきます。



1 計画期間

令和3年度(2021年度)から令和12年度(2030年度)まで

2 計画の構成

- (1) 10年間のまちづくりの方向性を示す「基本構想」
- (2) 5年間の具体的施策や事業内容を示す「基本計画」
 - ア リーディングプロジェクト
 - イ 施策大綱別計画
 - ウ 地域まちづくり計画
- (3) 単年度ごとの「実施計画」

※ 基本構想及び基本計画の概要については、別添「秦野市総合計画 はだの2030プラン ダイジェスト版」のとおりです。

問い合わせ

総合政策課総合政策担当 電話0463(82)5101